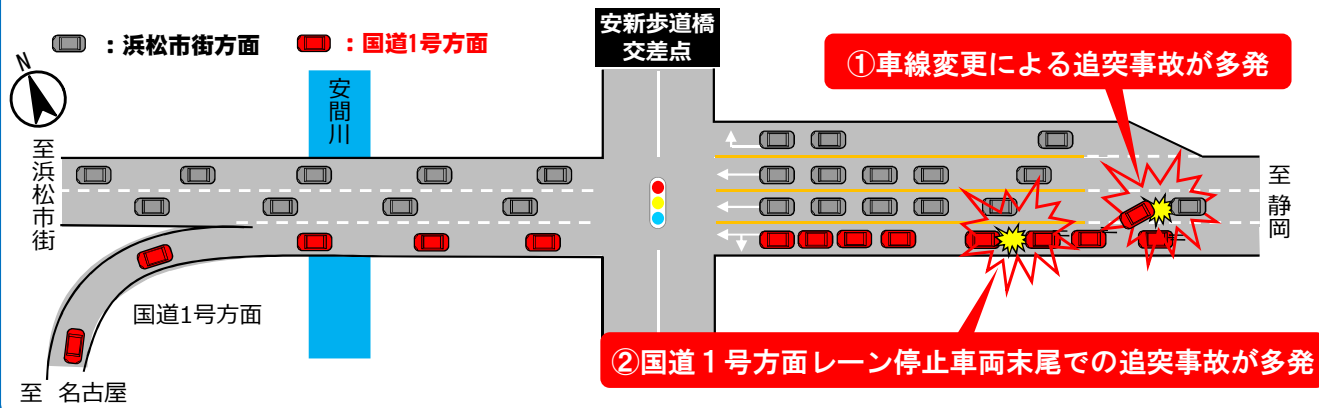


事故危険箇所対策の具体事例

■一般国道1号 安新歩道橋交差点（静岡県浜松市東区安新町131）

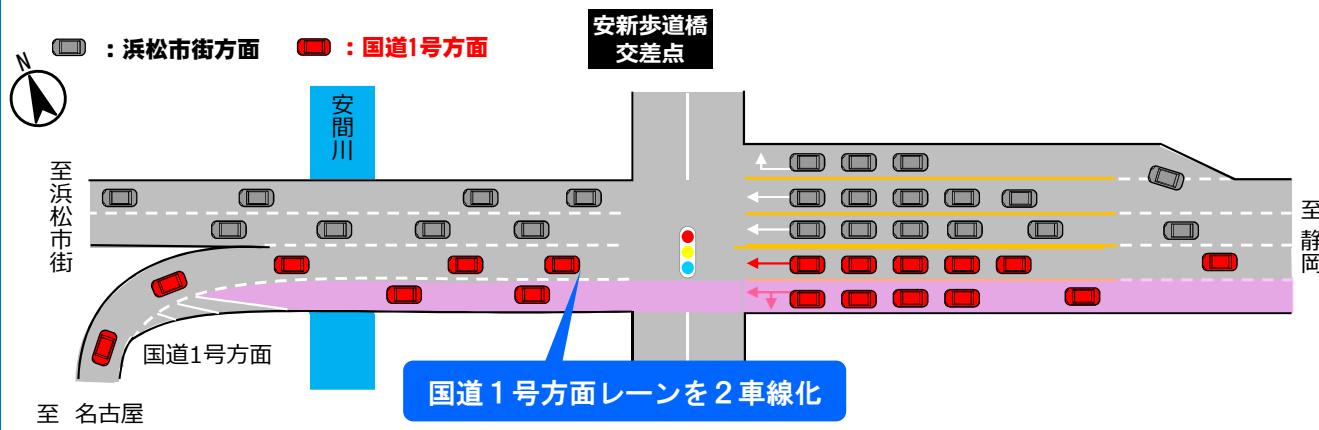
事故の発生状況

- 朝夕の通勤時間帯において、渋滞による速度低下が顕著な状況。
- 下り線において、速度低下に起因した車両末尾での追突事故や、交差点直近での国道1号へと向かう車両と浜松市街地に向かう車両に分離される際の車線変更に起因した車両の接触事故や追突事故が発生している。



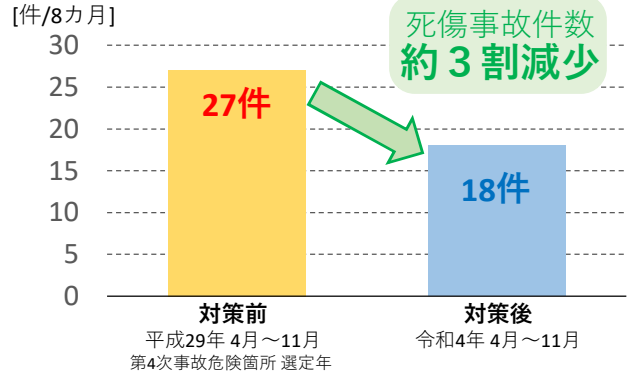
対策の実施

- 下り線側の速度低下や滞留、車線変更に起因する事故対策として、国道1号方面レーンを2車線化及び路面標示等による注意喚起を実施し、令和4年3月に完成。

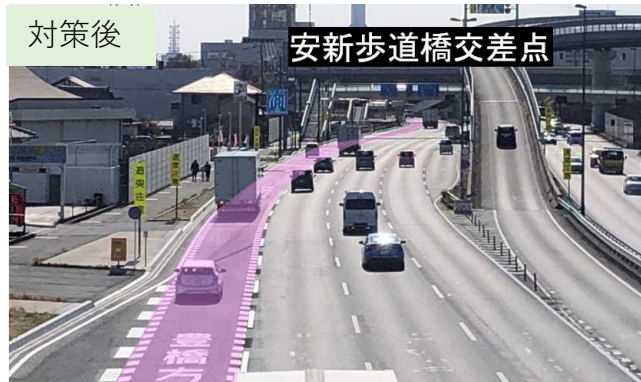


効果検証

■対策前後の死傷事故件数



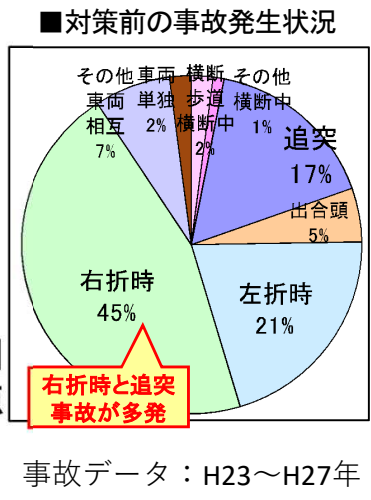
国道1号下り線 中野町インター合流部～安新歩道橋交差点間（事故事件発生マップ（静岡県警察）を元に集計）



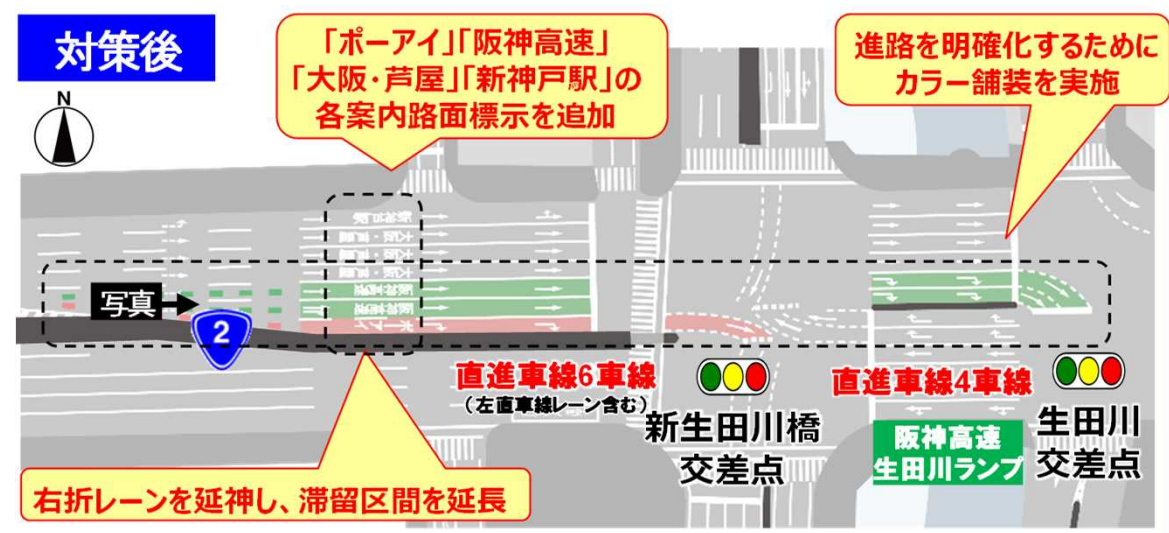
事故危険箇所対策の具体事例

■一般国道2号 生田川交差点 (兵庫県神戸市中央区雲井通1)

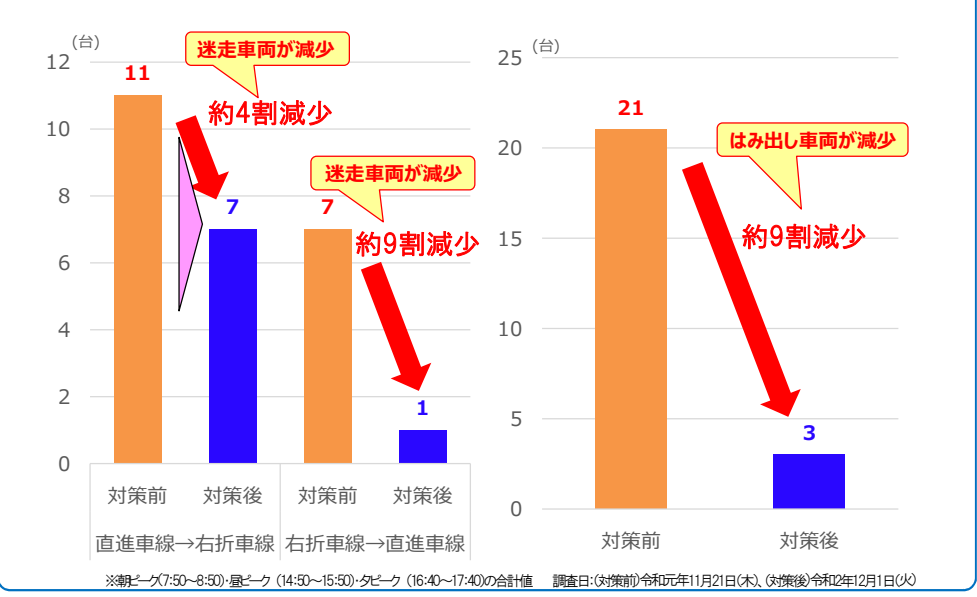
事故の発生状況



対策の実施



効果検証

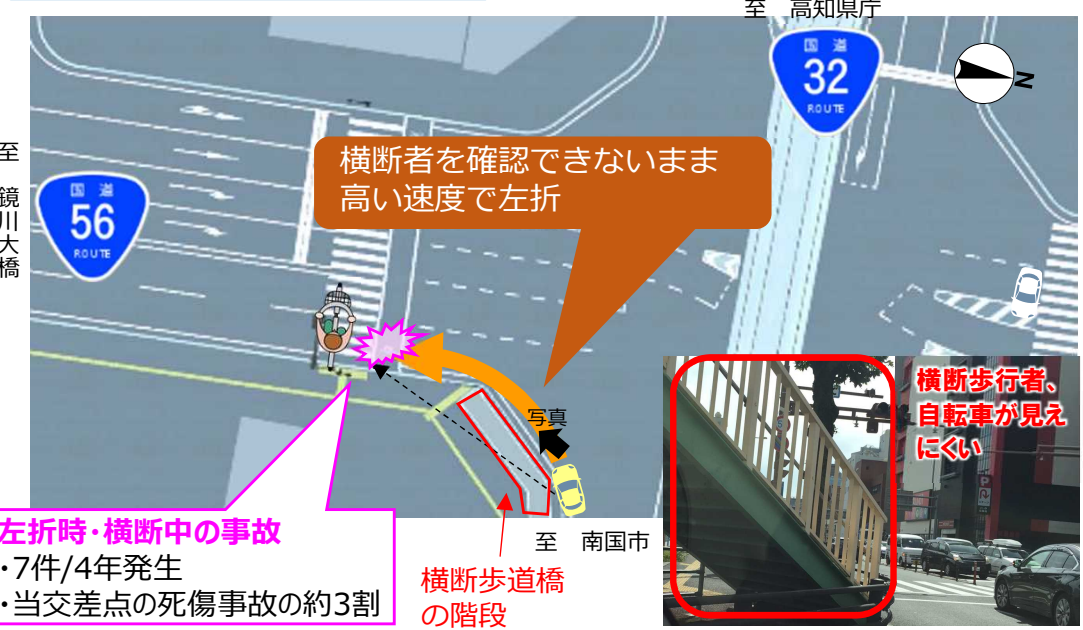


※R2.10対策完了

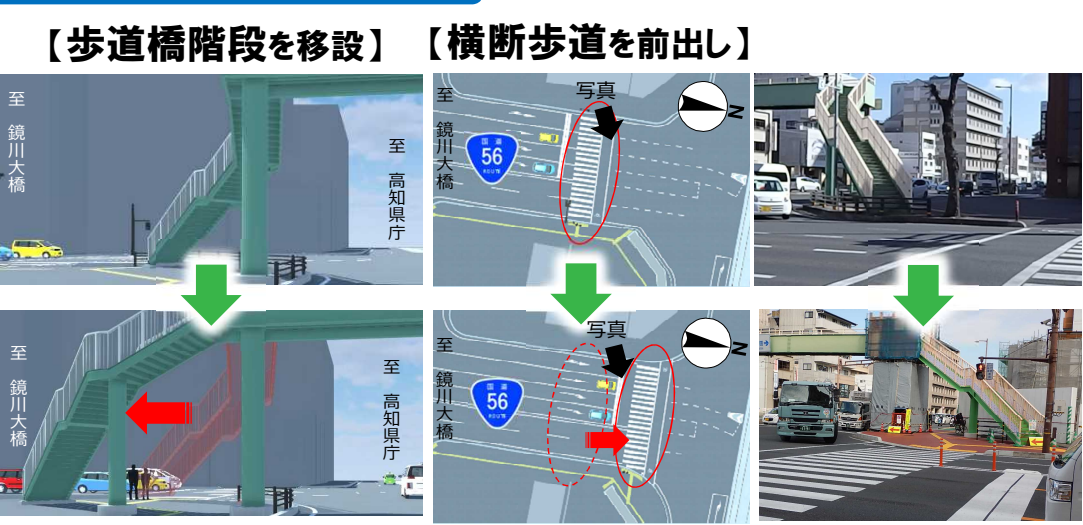
事故危険箇所対策の具体事例

■一般国道56号 中宝永交差点 (高知県高知市知寄町一丁目)

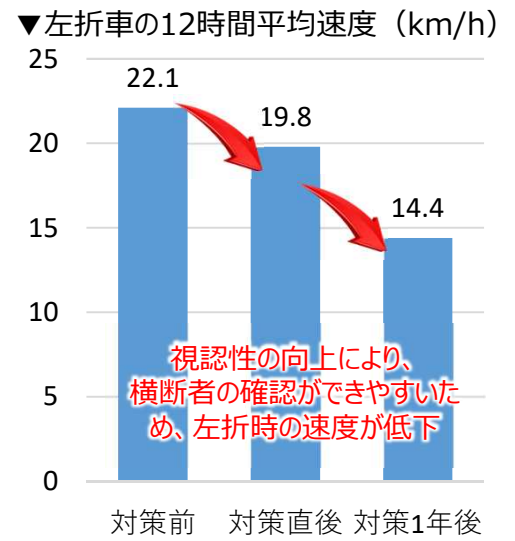
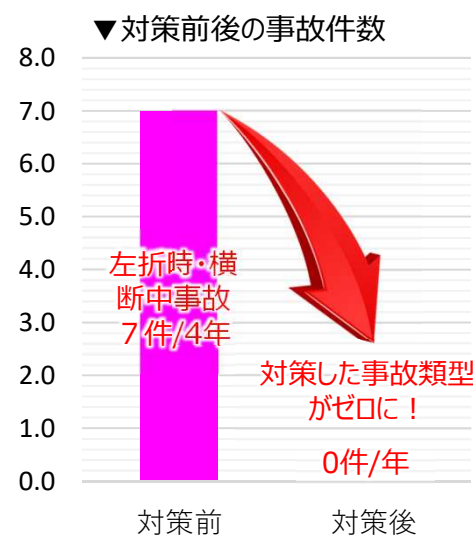
事故の発生状況



対策の実施



効果検証



効果検証データ：ETC2.0データ (7時～19時)
対策前 H31.3.12～4.30
対策後 R2.3.12～4.30、対策1年後 R3.3.12～4.30
出典：ITARDAデータ (対策前：H26～H29、対策後R2/4～R3/12)